

四国の森づくりの 取組を募集中

「四国山の日賞」に応募を



四国山の日
11月11日は四国山の日

平成二四年度「四国山の日賞」を募集
しています。

この取組は、平成一六年一月一四日の「四国の森づくりシンポジウム」において、四国四県知事並びに四国森林管理局長が一堂に会し「四国の森づくりに関する共同宣言」を行い、毎年一月一日を「四国山の日」と制定し、様々な取組を四国四県と局が連携して推進しています。(今年は一〇月に高知県で開催)

これを記念しての取組のひとつとして、四国の森づくり等の取組を積極的に推進している団体等を「四国山の日賞」として募集・表彰しています。

部門は①多面的機能の発揮に向けた森林整備の推進 ②木材の利用推進 ③森林環境教育活動の推進の三部門です。

今年の募集期間は六月一九日まで。各署等では、森づくり等の取組を積極的に推進している団体等に応募を勧めてください。(詳細については指導普及課まで)

24 技術開発の紹介

第11回 ひろしま

「山の日」県民の集いに参加

6月2日(土)～3日(日)にかけて、第11回ひろしま「山の日」県民の集い(林野庁後援)が尾道市をメイン会場に開催されました。

この集いに鶴見武道さん(四国の森づくりネットワーク会長)とともに参加し、「四国山の日」の今日までの取組等を発表し、情報交換等を行いました。

この集いは広島県内10市町、11カ所と規模も大きく、11会場のそれぞれが森への誘いなど多くのイベントが行われ有意義な内容で、参加された方々は「山の日」が海の日に劣らない全国的なうねりを目指した集いに向けて、次回は、さらに多くの参加と賛同の呼びかけを確認して終了しました。(課長補佐 橋口)

編集後記 四国地方も梅雨入り間近。「紫陽花は 色どりそえる 梅雨空に」体調にはくれぐれも留意してください。

天然林における スギ天然更新技術の確立

目的 ヤナセスギの天然更新による作業基準の確立を目指し、基礎データの収集。

試験地 安芸森林管理署(和田山二〇九八い林小班)

試験内容 平成一六年度に架線集材とヘリコプター集材により生じた伐採跡地を活用し、スギ植栽木の成長調査

及び天然更新の稚樹成立本数調査並びに保護チューブによる成長促進調査等を実施。

開発期間 平成一六年度～平成二五年度

詳細は、局HP 森林管理局の概要

森林技術センターを参照。

(写真は和田山試験地の全景)

